

NEWS RELEASE

ウィルス被害経験者は5割以上、但し3人に1人はセキュリティ費用0円派
セキュリティ知識は浸透、自衛策は専ら利用注意レベル
～NTTアド 個人ユーザのインターネットセキュリティに関する意識と利用実態調査～

株式会社エヌ・ティ・ティ・アド(以下「NTTアド」 東京都品川区、代表取締役社長:中山哲夫)は、個人ユーザの『インターネットセキュリティに関する意識と利用実態』について調査を実施いたしました。

調査は、2008年3月1日～2日に首都圏在住20代～40代の男女個人を対象に、ネットセキュリティ上の自衛策に関する認知と自宅での実施状況、および、ウィルス被害の経験と意識などについて、インターネットアンケート方式で行ない、有効回答者数は309人でした。

インターネットが広く普及して人々のコミュニケーションが多彩に広がる一方、迷惑行為や犯罪被害の危険性を意識せざるを得ない状況となっています。例えば新種のコンピュータウィルスが次々と出現する中、日頃のネット利用に際し、できる自衛策、セキュリティ対策に努めることは不可欠です。

NTTアドでは、これからも、現在進行形のコミュニケーションが、社会・文化・消費に与える影響について様々な視点で調査研究を続けます。

<調査のまとめ>

1. インターネットセキュリティに関する自衛策の認知と実行について ～高い認知率だが、実際の自衛策は低い傾向

- ①セキュリティのため、「不審なメールを開封しない」ことは97%と高い認知にあった。その他、『「迷惑メールへの返信/添付ファイルへのアクセス」「不審なソフトのダウンロード」「チェーンメールの転送」「知らないサイトへの個人情報の登録」をしない』ことなども、8割以上の認知にあった。
- ②実際に自宅で行っていることとして8割以上の回答が得られたものは「不審なメールを開封しない」「迷惑メールへの返信/添付ファイルへのアクセスをしない」の2つのみであった。
- ③購買/契約といった出費を伴う自衛策については、「市販対策ソフトの利用」の認知は8割あるが利用は6割、「プロバイダーのセキュリティサービス」は6割の認知に対し利用は2割など意識面での自衛策に比べ、低い傾向にある。

2. インターネットセキュリティのための支出金額 ～「無料」が3割近くあり、安全は無料意識が強い?

過去1年間の支出額、今後1年間の許容金額とも、「無料」=0円という回答が全体の3割近い。
平均では、過去1年間の支出額3,153円に対し、今後1年間の許容金額2,740円と400円以上低い金額に留まった。

3. ウィルス被害への脅威に関する意識 ～被害経験者は半数超

- ①ウィルス被害の経験者は52.4%と半数を超えた。具体的には、(ウィルス添付などの)「迷惑メールの標的になった」が被害経験者の50%、「パソコンが壊れた/動きが遅くなった/ソフトが使えなくなった」35%であった。
- ②被害経験の有無に関わらず、8割以上の人が、「パソコンが壊れる/動きが遅くなる/ソフトが使えなくなる」「個人情報勝手に取得され悪用される」「データが知らない間にネット上に流出してしまう」「保存データが破壊される」ことに脅威を感じていると回答した。

＜調査結果抜粋＞

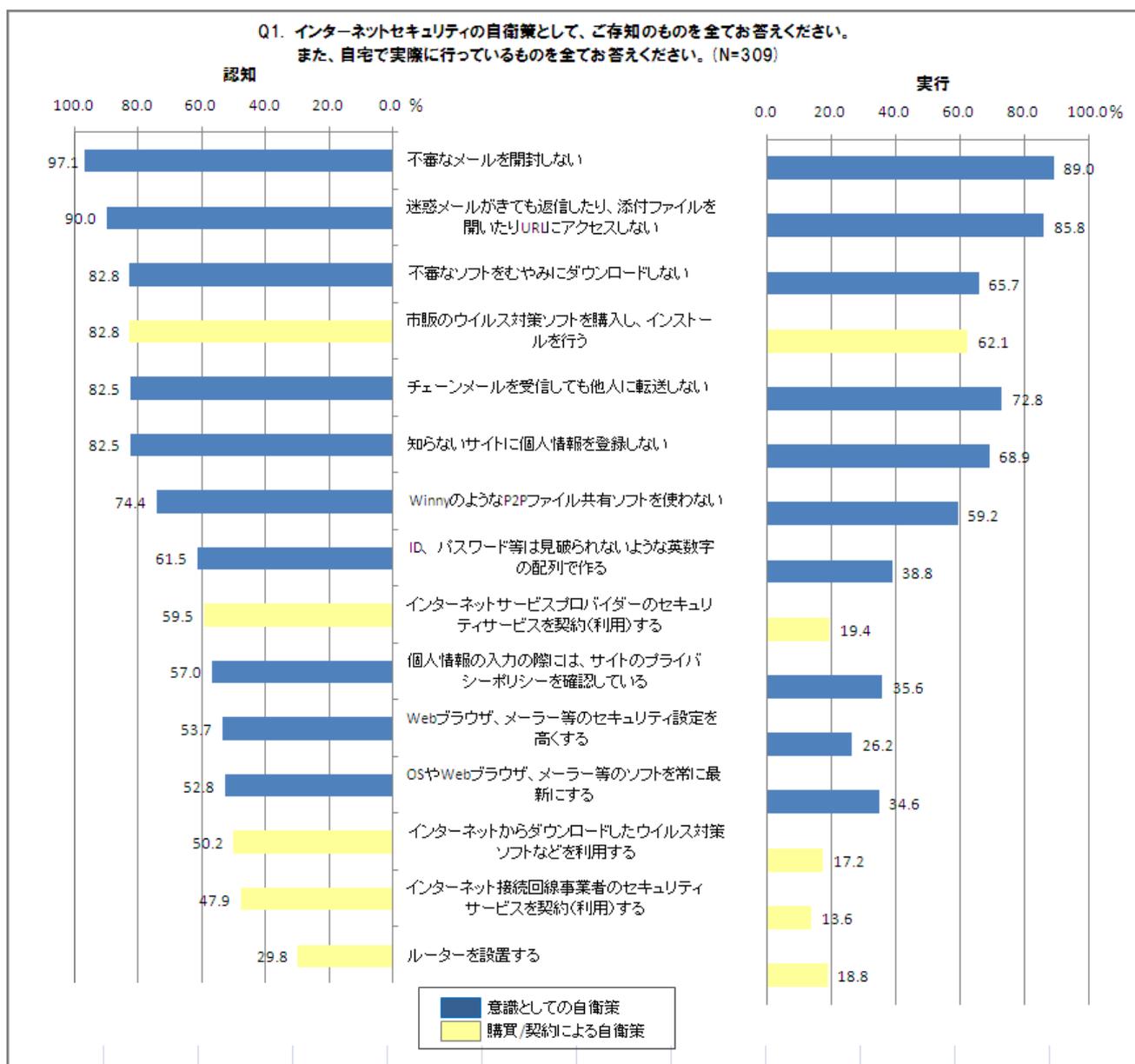
1. インターネットセキュリティに関する自衛策の認知と実行について

インターネットセキュリティのための自衛策については、「不審なメールを開封しない」ことが 97%と高い認知であった他、「迷惑メールへの返信/添付ファイルへのアクセス」「不審なソフトのダウンロード」「チェーンメールの転送」「知らないサイトへの個人情報登録」などについて、いずれも、8 割以上の人々が危険性を認識している。

実際に自宅で行っている自衛策としては、「不審なメールを開封しない」「迷惑メールへの返信/添付ファイルへのアクセス回避」については 9 割近くの人々が行っているが、他は「チェーンメールの転送」回避が 7 割、「知らないサイトへの個人情報登録」「不審なソフトのダウンロード」回避は 6 割台の実行に留まっている。

更に、“心がけ”だけではなく、購買/契約が必要になる「市販対策ソフト」については、8 割の人が認知はしているものの実際の利用は 6 割、「プロバイダーのセキュリティサービス」は 6 割の認知に対し、利用は 2 割に満たないなど、実行している割合が下がる。

セキュリティ知識はあり、注意深い利用が求められる場合には、気をつけて利用するよう心がけてはいるものの、購買/契約といった出費を伴う積極的自衛となると、実行する割合は下がる傾向が認められる。

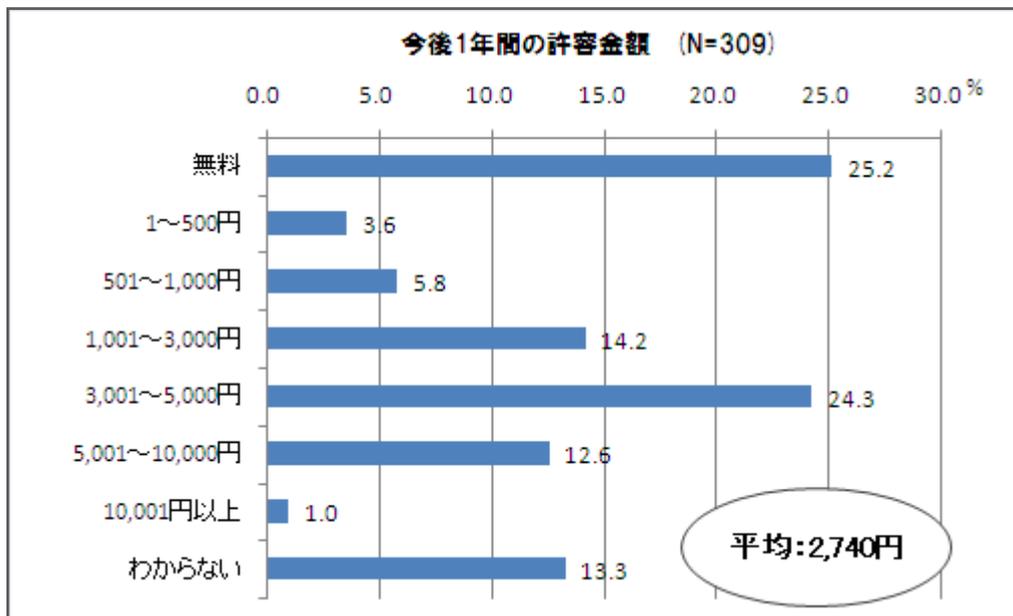
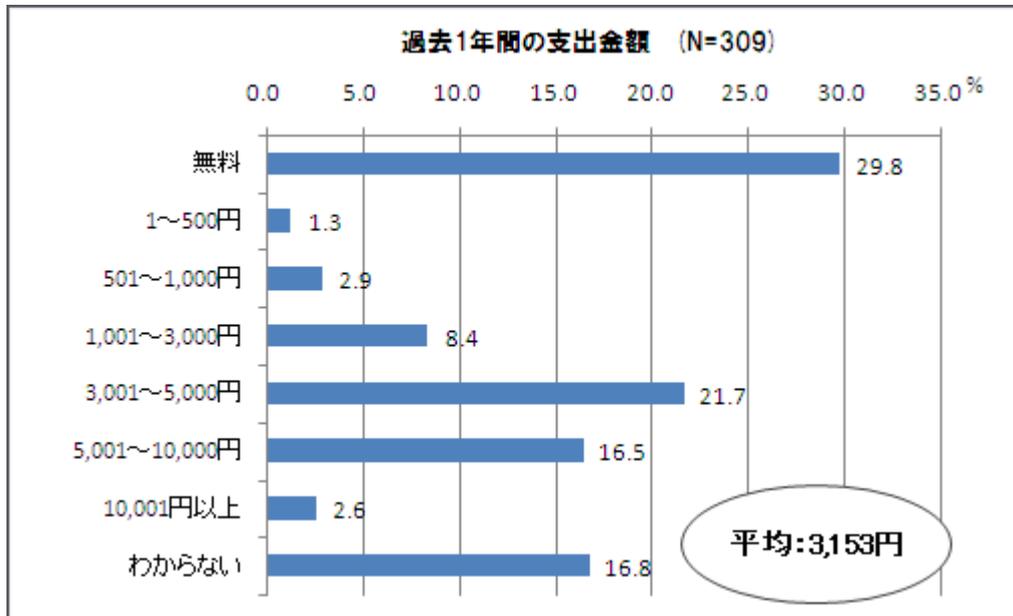


2.インターネットセキュリティのための支出金額

インターネットセキュリティのための支出は、過去の支出、今後の支出とも、「無料」と言う回答が3割近くあり、最も多い回答となった。

回答者平均を計算すると、過去の支出額では3,153円、今後の許容額では、2,740円と更に400円以上低い金額となった。

Q2. インターネットセキュリティ確保のため、最近1年間にどのくらい支出していますか？
また、今後1年間でどれくらい支出してもよいと思いますか？ (N=309)



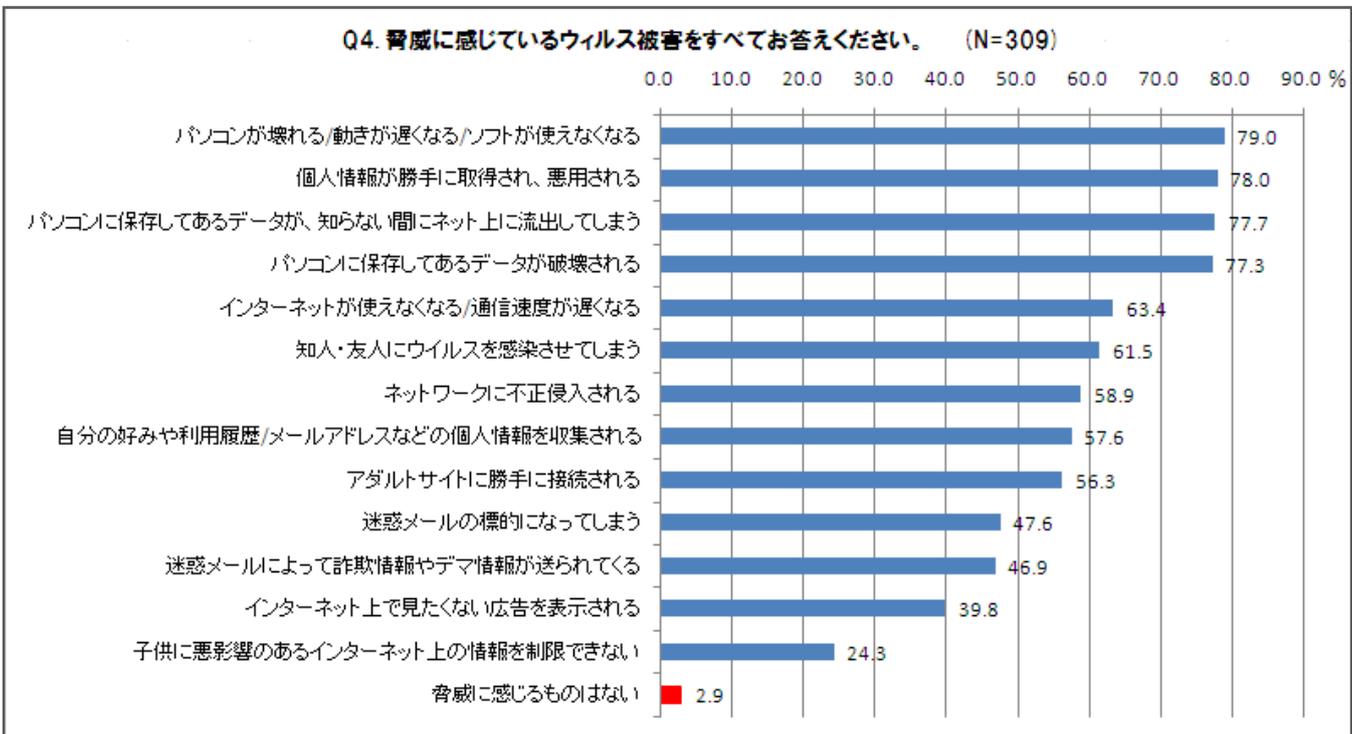
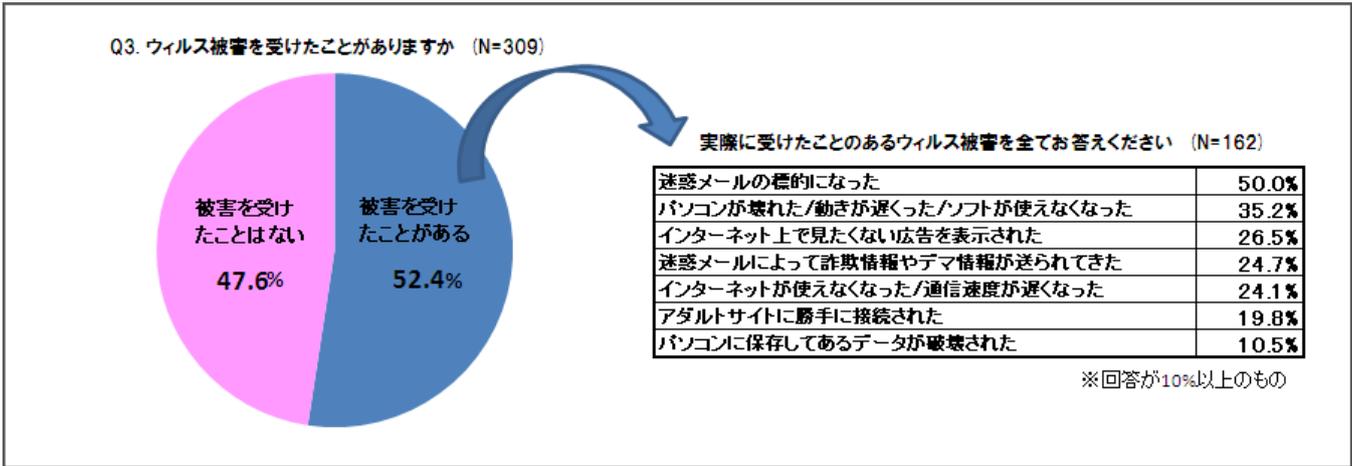
※「わからない」という回答を除いた平均

3. ウィルス被害への脅威に関する意識

自宅でウィルス被害を受けたことがある人は52.4%と半数を超えた。具体的な被害としては、「迷惑メールの標的になった」が最も多く、被害経験者の半数、次いで、「パソコンが壊れた/動きが遅くなった/ソフトが使えなくなった」35.2% 「ネット上で見たくない広告を表示された」26.5% 「迷惑メールによって詐欺情報やデマ情報が送られてきた」24.7% 「ネットが使えなくなった/通信速度が遅くなった」24.1% であった。

一方、被害経験の有無に関わらず、脅威に感じている被害としては、「パソコンが壊れる/動きが遅くなる/ソフトが使えなくなる」「個人情報勝手に取得され悪用される」「データが知らない間にネット上に流出してしまう」「保存データが破壊される」という項目が、いずれも8割近い回答を集めた他、選択肢の多くについて、半数以上の人が脅威を感じる結果となった。一方「脅威に感じるものはない」という回答は2.9%にとどまった。

現状、被害は受けてはいないものの、インターネットを使う上で、ウィルスからの危険性についても、知識としてはかなり普及している様子が伺える。



<問合せ先>

(株)NTTアド コミュニケーションプランニング局 (松縄・久米)

TEL 03-5745-7623

FAX 03-5745-7673

以上